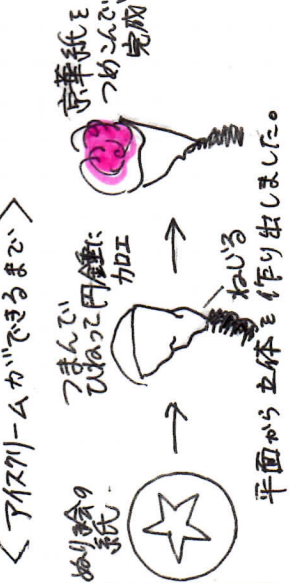


**作った。描いた。歌った。歌った。表現する**ことは、外で室内でも、個々に、あるいは、3歳児全員で...と様々な方法や形態で経験しました。

描くことは、主に室内で紙にクレヨンを使って行うことが多いのだから、大人々様です。まずは描いて、できた形や見える色で「〇〇を描いた」と作品にする子供もいます。それらしい形には見えなくてもそれらしい色で表現して満足している子、輪郭の中目や口等パーツを描いて「これか、顔と表現する子もいます。どの子も描くことを喜び、楽しんでいいることは同じです。今年の子歳見らしと云えば、「モキレ戦隊クワグルン(NHKE元)」を描くこと。1学期中に、何枚も描きました。先日、4人で改めて描き、番組宛に郵送しました。今回は、画用紙とペンを初めて使ってみたのですが、今後は子供たちの姿や目的に応じて、様々な素材と出会わせていこうと考えています。

また、7月末、たけの公園で4人が地面に共同制作していました。「線路」です。こちらが紹介しています。4人が共通に経験していること(鉄道模型で遊んだこと)が、ベースになっています。保育者が「皆でやれよう」と提案したことであり、自然と全員一斉の活動とになりました。表現という意味でも、友達関係でも成長を実感しました。

作ることは、室内では、紙の素材を使うことは日常的に行っています。特に、ままごとの食いや工作が多いため、その経験が積み重なって、7月の初めには、アスクリーム作りと、回転ずし作りに夢中になりました。アスクリーム作りは、保育者が七夕飾り作りとを考えて、用意したぬり絵用の丸い紙から生じた発想なので、その想像力と手先の器用さが生んだ作品に感じています。回転ずしも身近にあるものを使ってこれらしく表現する発達段階に合ったことが、子どもが姿から分かりました。



平面から立体を作り出しました。

外での造形活動は、石と拾い集めた実や草花、板等を組み合わせて行うことが多いです。泥んこのり組み合わせに「おぼろぎ」も多くありました。7月末に「サドットチ」をしてからは、「サドットチ」と作る姿が毎々見られます。表現することは、体験とつばからいって改めたいと思っています。また、自ら表現したい欲求、意欲が「子どろ」には育っており、身近にあるものと自分で選んだ材料とする力も、想像力も自分なりに表現する力も育って来たと感じます。



<サドットチ>  
アサギの葉っぱは、ハチマキに見立てた泥で塗り、葉っぱのハムやチーズ等ものせ、最後は葉っぱのパンをくり抜いて和紙でも作っていました。

歌うことも、日常的に楽しんでいきます。外を歩みながら、室内でゴウゴウのように、帰る前に皆で一緒に等、様々なスタイルで楽しんでいました。

曲名をあげると、  
♪どんぐりころころ ♪ちゅうちゅう ♪ハッピーバースデーカーニバル ♪おんこでびらいて  
♪雨降り♪鳩 ♪おぼろぎがわらった ♪七つの子 ♪おつかいあせん  
♪たばばた ♪トマト ♪公園にいきましょ ♪おちあやの ♪おちあや  
として、今年の子歳見らしい歌、♪キャッチャー戦隊クワグルン♪のテーマ曲  
覚えるために歌っているというよりは、状況に応じて、思わず保育者や子どもが歌い出し、それを皆で楽しんでいきます。

手遊び歌は、1学期は♪グンキパー♪で、2学期は♪おぼろぎ♪に入りました。帰る前の短かい比喩で、2学期も何曲か楽しみたいと思います。指先を動かしたり、左右で別々の動きをしたりすることは、案外難しいそうに思いますが、挑戦意欲も出てきています。